北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	哲学と社会思想B	科目コード	1121	単位数	3
担当者名	見附　陽介	開講セメスター	第2セメスター	開講年次	1年次
授業の方法	講義	到達目標	B	実務経験	無
ナンバリング	BPh206	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

社会思想と社会意識との不可分な関係を明らかにし、近代の政治・社会思想史を学ぶ。ルネサンスと宗教改革以降の思想的展開に沿って主権の思想や社会契約論を学び、現代社会の基本理念について考える。本講義では、これらの学習を通じて国家、社会、国際関係に関わる幅広い教養の獲得を目指す。

到達目標

・近代政治理論の根底にある様々な哲学的思考様式を学ぶことによって、現代社会を形作る基本理念である主権、憲法、法、道徳などについて多角的に考えることができるようになる。
・近代以降の社会と思想の相互関係について理解できるようになる。

授業内容

1週目 オリエンテーション／中世からルネサンスへ：ヒューマニズムの思想
2週目 宗教改革①：良心の自由
3週目 宗教改革②：資本主義の精神／理解度確認小テスト①（学内Wi-Fi使用予定）
4週目 絶対王政と王権神授説：主権の思想
5週目 イギリス①：社会契約論／第１週ー第４週まとめ／第一回試験
6週目 イギリス②：市民革命と思想
7週目 フランス①：社会契約論／理解度確認小テスト②（学内Wi-Fi使用予定）
8週目 フランス②：市民革命と思想
9週目 第５週ー第８週まとめ／第二回試験
10週目 アメリカ：独立の思想
11週目 ドイツ①：カントの倫理学と平和思想
12週目 ドイツ②：観念論の社会思想／理解度確認小テスト③（学内Wi-Fi使用予定）
13週目 資本主義と産業革命：階級の思想
14週目 第１週ー第１３週まとめ／第三回試験
15週目 資本主義と共産主義：マルクスの資本主義批判／後期授業の復習／テスト返却
16週目 テストフィードバック（質問受付）／再試験レポート対応（なお、期間中に休講があった場合は補講授業を行う）

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

講義題目の人物名・キーワードに即して参考書などを読み、事前に知識を整理しておくこと（30分程度）。思想の社会背景としての世界史の流れについても事前に把握しておくこと（30分程度）。配布されたハンドアウトや自分でまとめた授業ノートなどをもとに講義内容を復習するとともに、参考書などを使って補足的知識を自身で調べ学習すること（60分程度）。予習・復習どちらにおいても哲学者本人の著作をいくつか読んでおくのが望ましい。

成績評価の方法・基準

3回の試験および3回の理解度確認小テストの合計点によって評価する。ただし、授業態度が著しく悪いなどの場合は、減点措置をとることがある。

履修上の留意点

板書内容だけでなく口頭での説明なども積極的にノートに取ること。
また出席は基本的にすべての回に出席することを前提とし、６回以上の欠席がある者は評価の対象としない。
理解度確認小テストは学内Wi-Fiを用いてオンラインで実施する予定なので、各自スマホやタブレットなど通信機器を持参すること（ただし、授業中スマホなどを使わない場合は、しまっておくこと）。

課題に対するフィードバックの方法

試験に関して、問題構成の解説と解答および解答のための知識と理論の補足説明を行う。必要の場合には、復習のために講義内容の再度の確認も行う。
また、理解度確認小テストの結果をその場でフィードバックし、補足説明等を行う。

テキスト

特になし。

参考書

佐々木毅著『宗教と権力の政治　「哲学と政治」講義II』講談社学術文庫、2012年。
坂本達哉著『社会思想の歴史』名古屋大学出版会、2014年。
教職課程をとる者は『学習指導要領』（文部科学省）も随時参照すること。

更新日付

2026/01/27 10:41